

## 令和2年「浅川の花火」大会開催中止のお知らせ

「浅川の花火」は、供養の花火として永い伝統を持ち、毎年8月16日のお盆の送り火として、町民の皆様をはじめ、観に来てくださる方々とともに、先祖や一揆騒動の犠牲者、また戊辰戦争、日清、日露、太平洋戦争の戦没者、そして東日本大震災の犠牲者を供養するために打ち上げられております。

現在、国内外で新型コロナウイルスの感染が拡大し、その影響は多くの人々の生命や健康だけでなく、生活や経済などあらゆる面に甚大な被害を及ぼしています。緊急事態宣言も全都道府県に拡大され、外出自粛等の対策も取られました。先日、全国一斉での緊急事態宣言は解除となりましたが、未だ予断を許さない状況が続いていることには変わりなく、その終息の時期やワクチン、治療薬等の開発時期も現時点ではまったく見通せない状況です。

この情勢下、供養のための「浅川の花火」で万が一、感染者が出るようなことはあってはならず、主催者である両町青年会と煙火打上業者、浅川町及び関係機関とで情勢を見つつ、通常の実行は無理だとしても、規模を縮小するなり何らかの形で開催できないか、ギリギリまで協議や内容の検討を続けておりました。

その結果、周辺の市町村や全国の花火大会が次々と中止となっている状況も踏まえ、花火大会を開催することで新型コロナウイルス感染拡大の可能性が少しでもあり、手続きや準備の時間を考えると、8月16日までに新型コロナウイルス感染が完全に終息し、花火大会を100%安全に開催できるという保証が現時点でない以上は、本年の花火大会は中止せざるを得ないという判断に至りました。

供養の花火である「浅川の花火」の歴史や意義、伝統、町民の皆様や歴代の両町青年会員の方々の想いを考えると、この判断は非常に苦しく、悔しいものです。

昨年秋の台風第19号では、甚大な被害があり、その復旧も完了しておらず、まだまだ道半ばです。花火の打上場所や観覧場所、両町青年会の倉庫にも大きな被害を受けました。そんな中でも、この苦難を乗り越え、本年も皆様に喜んでいただける花火、皆様の心に残る花火を打ち上げられるよう会員一丸となって進み始めた矢先のことでした。まさに苦渋の決断、断腸の思いであります。この苦しい心中を少しでもお察しいただければ幸いです。

しかし、永い伝統を持ち、戦時中でも続いてきた「浅川の花火」の供養という主旨とこの新型コロナウイルスという災禍のいち早い終息とそこからの復興を祈念することも「浅川の花火」の大切な意義と考えています。

そのため、花火大会としての夜の花火は打ち上げを行いませんが、例年8月16日の日中に開催しております慰霊祭に合わせ、「供養の花火」、「祈念の花火」として、現在の状況を吹き飛ばすべく、音だけの雷花火を十数発続けて打ち上げる予定です。町民の皆様には後日、打ち上げの時間を防災無線等でお知らせいたしますので、ぜひ

ご自宅で花火の音を聞きながら、故人を偲びつつ、現在の災禍の終息と復興をご祈念いただければと思います。

例年の「浅川の花火」を楽しみにしておられた皆様や本年にご家族の供養花火の打ち上げを考えられておられた方々、大会関係者の皆様には、このような判断になったことは、非常に心苦しく、申し訳ございませんが、安心安全を第一に考えて、このような判断とせざるを得ないことをどうかご理解いただき、ご容赦いただきたいと思います。

来年の「浅川の花火」大会には、全世界がこの新型コロナウイルス危機を乗り越え、皆様が笑顔で安心して花火を見られるような状況になっていることを祈っております。両町青年会員一同、例年以上に皆様に喜んでいただける花火とするべく頑張りたいと思いますので、引き続きのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和2年5月

浅川町両町青年会  
本町青年会一同  
荒町青年会一同